

# くずまきらしさ光る取り組み

町民の安全で安心な暮らしのために

## 9月定例会議

9月定例会議は、9月4日から11日までの8日間の日程で行われました。町長から提出された議案は、元年度会計の決算認定のほか2年度補正予算など14件が提出され、全議員の賛成で原案どおり『決定』しました。一般質問は4人の議員が登壇し、町の対応や考えをいただきました。



完成した待望の町道茶屋場田子線

支出は前年度比で  
2億円減

元年度の全会計の総支出額は、73億7871万円。前年度比2億6727万円、3・5割減少しました。

一般会計の支出額は、62億874万円。前年度比2億1759万円、3・4割の減少です。グリーンテージや小学校校舎の大規模改修事業が完了したことなどが主な要因です。

三つの特別会計の支出総額は11億6996万円。前年度比4969万円、4・1割減少しました。

「町道茶屋場田子線」の堤防部分が完成し、バイパス機能のほか、災害や緊急事態発生時の代替路として防炎面の機能充実に図られました。「保育園、小中学校のエアコンの整備」や「江

## 元年度決算の状況

会計名		収入	支出
一般会計		70億 321万円	62億 874万円
特別会計	国民健康保険事業	9億4445万円	9億 854万円
	農業集落排水事業	1億9186万円	1億8575万円
	後期高齢者医療事業	7959万円	7567万円
合計		82億1910万円	73億7871万円

刈中学校の校舎改修、「公営塾の充実」などで将来の町を担う人材育成の環境を充実させました。一般会計決算の詳しい内容は、4～5ページをご覧ください。

## 繰り上げ償還を高評価

### 監査委員の意見

【概要】元年度決算はすべての会計が黒字です。普通税の徴収率が前年度を下回り、使用料などを含めた未収金は、379万円増加しており、職員の徴収に対する取り組みの創意工夫を求めます。新規事業を積極的に導入し、住民のニーズを的確に捉えています。「町

道茶屋場田子線の改良」のほか「くずまき出合いサポート事業」や「健康管理システムの導入」など課題であったソフト面でも成果が出ています。公債費の繰り上げ償還を前年度に引き続き行い、将来予想される一般財源の硬直化対策に、いち早く取り組みられたことは高く評価します。

## 財政健全化判断比率は「健全」を維持

「財政健全化法」に基づく元年度の一般会計、特別会計、第3セクターなどの決算を含めた各指標は、いずれも基準を下回りました。

### ●健全化判断比率

各指標		元年度	30年度	比較
実質赤字比率	(15%)	赤字なし	赤字なし	—
連結実質赤字比率	(20%)	赤字なし	赤字なし	—
実質公債費比率	(25%)	7.6%	6.3%	1.3
将来負担比率	(350%)	なし	16.2%	皆減

※各指標の( )内の%は早期健全化の基準で、数値が低いほど健全な財政運営になります。  
※実質公債費比率とは、地方公共団体の借入金（地方債）の返済額（公債費）の大きさを、その地方公共団体の財政規模に対する割合で表したものです。

### ●資金不足比率

経営健全化基準は20%で、対象となる農業集落排水事業の資金不足は発生していません。



町長に決算監査の意見書を提出する監査委員